

柳原の震災に備えた防災まちづくり情報をお伝えする広報誌です

防災まちづくりかわら版



このかわら版は、柳原地区（柳原一丁目、柳原二丁目の全域）にお住まいの方、柳原地区内に土地や建物を所有している方にお送りしています。

【発行】柳原防災まちづくり勉強会



千寿桜堤中学校の生徒とこれからの柳原防災まちづくりについて、意見交換を行いました！



自分たちが住む柳原の将来像・不安な点など様々な視点から意見を交わし、グループ発表では当日の意見を全員で共有しました。



▲グループ発表の様子

▼各グループ話し合い

意見交換会の概要報告

開催概要

【日時】令和5年8月28日（月）

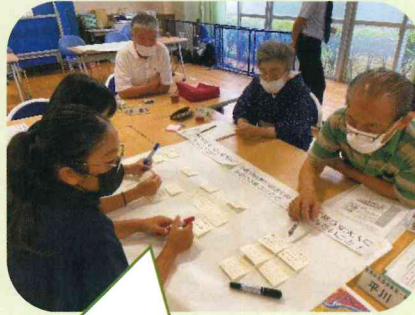
【場所】千寿桜堤中学校

【参加者】千寿桜堤中学校の生徒 7名
勉強会会員 10名 計 17名

【テーマ】・柳原が将来どんなまちになって欲しいか
・地震や火事が起きた際、柳原の不安なところ
・柳原で暮らす大人に聞いてみたいこと



- ・お店が少ないため、サロンのような誰もが集まりやすい場所や子どもが行けるお店がほしい。
- ・商店街は夜も明るい、住宅街は暗い。夜道も明るいまちにしたい。



- ・コロナ前に行っていた地域のお祭りやイベント（餅つきや流しソーメンなど）を復活させてほしい。
- ・千草園のような花や緑がある場所を増やして、雰囲気も明るいまちにしたい。



- ・狭い道路が多いため、消防車が入り込める広い道路の整備が必要だと思う。
- ・災害に備え、普段からのコミュニティづくりが大事。
- ・身体の不自由な方や高齢者が住んでいる場所を地域の方で共有しておきたい。